

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 都整-20 河川維持補修事業 ☐ 支 援 部 門										
主管課	下水道河川課				関連課		総合防災課				
分野名	下水道・河川										
目標 (目標値)	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進める。										
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考			
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯					
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	20,871		7,550		13,386					
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	20,871		7,550		13,386					
	人員配置数	0.8人		0.5人		0.6人					
	人 件 費(千円)	6,298		4,026		4,252					
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	27,169		11,576		17,638					
	市民1人当りの経費(円)	153		65		100					
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
河川講習会・準用河川の修繕	△	目標値	5回 35m		5回 35m		5回 35m		5回 35m		5回 35m
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	2回 22m		2回 20m		2回 20m		2回 33m		

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
河川維持補修事業	20,871	河川維持補修事業	16,043	今後の 方向性	A	理由 ・手法	市民の生命と財産を守るため、河川の長寿化計画を策定し、補助金を確保しながら、維持管理を行う。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	厳しい財政状況から施設修繕が計画どおり実施できないため、十分な維持管理ができない。												
課題解決のための取組	既定の予算内で護岸の修繕を行うため、安全性を考慮しながら低廉な工法を検討した。							取組の結果	☐ 解 決 ☒ 未解決				
未解決の課題	準用河川修繕計画に記載した修繕必要箇所が未改修のまま多数残っている。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	△
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	「インフラマネジメント計画」においてインフラストックの把握を行い、「予防保全型」管理を基本とする長寿化計画を策定し、国等の補助金を確保しながら、計画的に事業を推進していく。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	A		
※□事業完了													
評価者名					下水道河川課担当課長					甘粕 潔			

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
河川維持補修事業	準用河川・滑川の維持修繕、準用河川の浚渫、神奈川県河川協会負担金					○	○	○	○
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		338	河川管理施設突発的維持修繕料	4,000	2,359	○	○	○	○
		338	滑川維持修繕料	4,120	3,437	○	○	○	○
		1262	準用河川しゅんせつ業務委託料	2,000	657	○	○	○	○
		1262	調整池しゅんせつ業務委託料	3,000	649	○	○	○	○
		338	家屋調査委託料	1	0	○	○	○	○
		1262	準用河川維持修繕工事請負費(準用砂押川(岩瀬671番地先))	3,000	0	○	○	○	○
		1262	準用河川維持修繕工事請負費(準用河川新川(常盤165番地先))	0	13,700	○	○	○	○
338	神奈川県河川協会負担金	69	69	○	○	○	○		
※□事業完了	338	地下埋設物移設等補償金	1	0	○	○	○	○	

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□事業完了									